



苦小牧市まちなか再生総合プロジェクト・プログラムパート4
Central Tomakomai Active Project

CAP4

実践プログラム

令和3年度（2021年度）



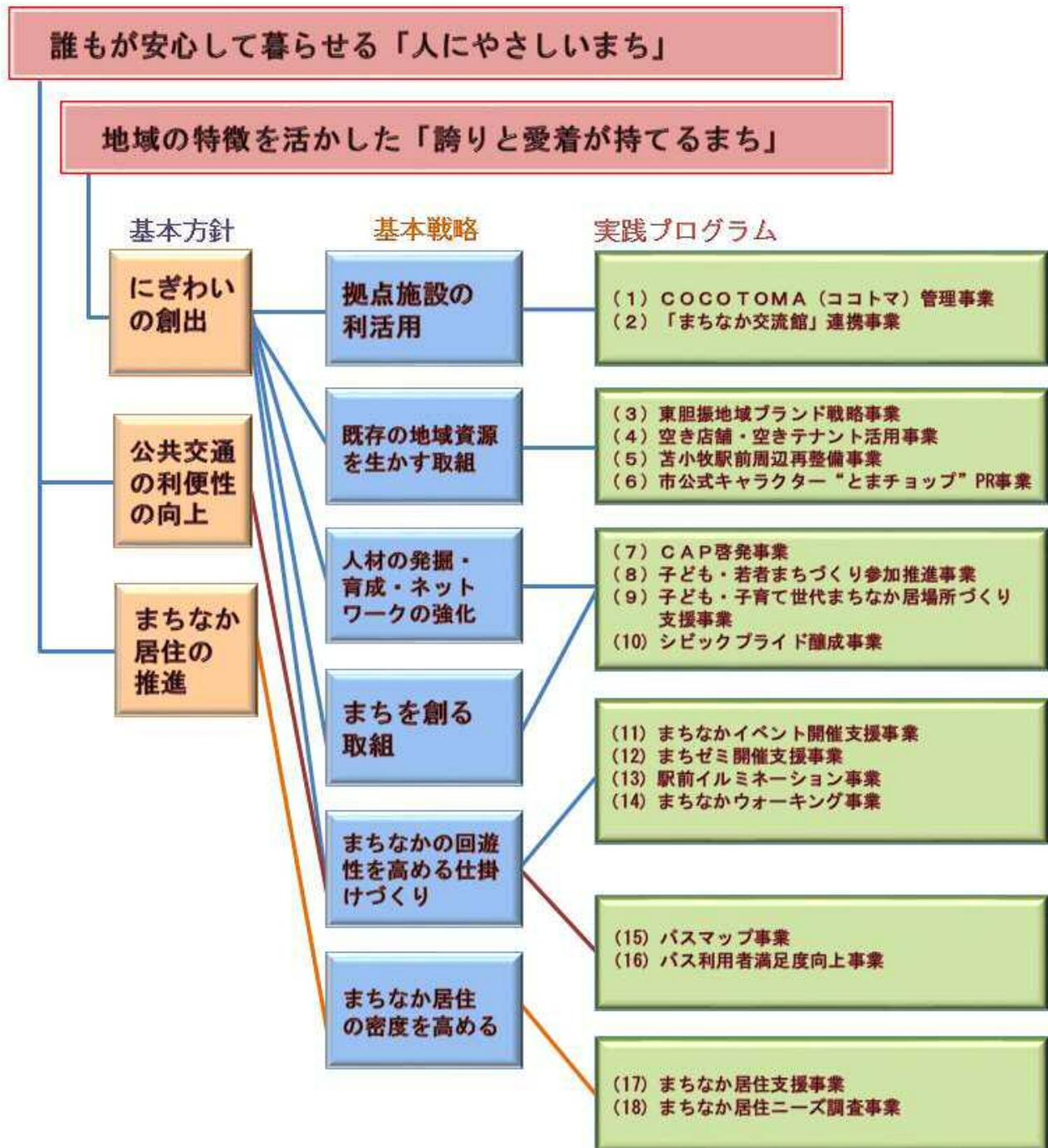
令和3年3月 苦小牧市

令和3年度 実践プログラム（目次）

目標及び基本方針、実践プログラム	P. 1
CAP4の対象区域	P. 2
1 にぎわいの創出に係る事業	
・COCOTOMA（ココトマ）管理事業	P. 3
・「まちなか交流館」連携事業	P. 5
・東胆振地域ブランド戦略事業	P. 7
・空き店舗・空きテナント活用事業	P. 9
・苫小牧駅前周辺再整備事業	P. 10
・苫小牧市公式キャラクター“とまチョップ”PR事業	P. 11
・CAP啓発事業	P. 13
・子ども・若者まちづくり参加推進事業	P. 15
・子ども・子育て世代まちなか居場所づくり支援事業	P. 17
・シビックプライド醸成事業	P. 19
・まちなかイベント開催支援事業	P. 21
・まちゼミ開催支援事業	P. 23
・駅前イルミネーション事業	P. 25
・まちなかウォーキング事業	P. 27
2 公共交通の利便性の向上に係る事業	
・バスマップ事業	P. 29
・バス利用者満足度向上事業	P. 30
3 まちなか居住の推進に係る事業	
・まちなか居住支援事業	P. 32
・まちなか居住ニーズ調査事業	P. 34

目標及び基本方針、実践プログラム 等

[目標]



CAP 4の対象区域

CAP 4の対象区域は、「旧中心市街地活性化基本計画（平成12年度（2000年度）策定）のエリア」及び「まちなか居住の推進エリア」の計174haとします。

「まちなか居住の推進エリア」については、CAP 3から追加したエリアであり、引き続き、まちなか居住の推進に係る施策に特化した取組を展開しますが、CAP事業を実施する際には「まちなか居住の推進エリア」から駅前周辺に人の流れを作り出すことも留意しながら施策を進めます。



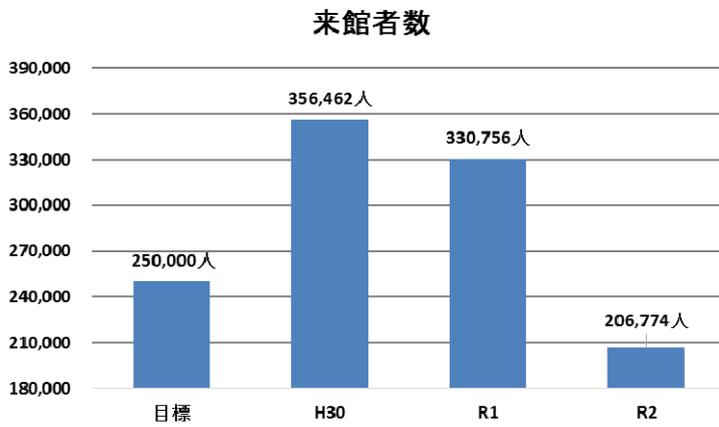
1 にぎわいの創出に係る事業

(1) COCOTOMA (ココトマ) 管理事業 【継続】

実施主体	市、指定管理者等
概要	幅広い世代の人々が集い楽しむ交流拠点と位置付け、多様なコミュニケーションが創造される「場」の提供、イベントの開催、東胆振の食材を使ったメニューの提供等により、にぎわいの創出を図る。
実施時期	平成 26 年度 ～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 22 年度 ワークショップ、意見交換会でコンセプトを決定 ○平成 24 年 8 月 「あり方検討委員会」から提言書受理 ○平成 25 年 9 月 議会において設置条例議決 ○平成 26 年 3 月 指定管理者選定等委員会において、指定管理者候補者の決定 ○平成 26 年 6 月 議会で指定管理者選定 ○平成 26 年 10 月 貸主と賃貸借契約締結、指定管理者と基本協定締結 ○平成 26 年 11 月 COCOTOMAの開設 ○平成 30 年 2 月 来館者数 100 万人を達成（セレモニーを開催） ○平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月 指定管理者の更新に伴い、所定の手続きを経て、次期指定管理者と基本協定の締結、建物貸主と賃貸借契約を締結 ○平成 31 年 4 月～5 年間の指定管理期間開始
備考	



COCOTOMA館内での
イベント等



令和元年度
COCOTOMAの
来館者数 330,756人

※令和2年度来館者数
206,774人

※目標設定：年間25万人



東胆振の食材を使った
CAFÉメニュー

平成31年4月
「おにぎりカフェ」にリニュー
ーアル

(2)「まちなか交流館」連携事業 【継続】

実施主体	苫小牧信用金庫、市、商店街等
概要	COCOTOMA(ココトマ)、商店街等と連携した事業展開により、まちなかに人の流れを生み出す。 まちなかの回遊性の向上、滞留性の強化を図るため、広報、PR、イベント開催の支援等を行う。
実施時期	平成23年度～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度～平成22年度 苫信本店建替え計画の中で、CAP素案に盛り込まれた足湯に賛同 ○平成23年12月 まちなか交流館完成(苫信の単独事業として建設) ○平成24年 苫信本店前の歩道整備工事実施 ○街づくり実行委員会及び商店街にイベント事業費を補助 ○平成28年2月 まちなか交流館・商店街等と連携して、スタンプラリーを実施 ○平成28年6月 まちなか交流館・商店街等と連携して、とまチョップまちなか冒険クイズラリーを実施 ○平成30年8月 まちなか交流館・商店街等と連携して、とまチョップバースデーパーティーまちなかスタンプラリーを実施 ○令和元年8月 道新とまこむ編集室・商店街等と連携して、再発見!まちなかお店巡り散歩を開催 ○令和元年9月 まちなか交流館・商店街等と連携して、再発見★まちなかスタンプコレクションを開催
備考	



まちなか交流館の外観



まちなか交流館の館内



令和元年9月
再発見★まちなかスタンプ
コレクション（絵本読み聞
かせ）

(3) 東胆振地域ブランド戦略事業 【継続】

<p>実施主体</p>	<p>東胆振地域ブランド創造協議会 東胆振1市4町（苫小牧、厚真、安平、むかわ、白老）</p>
<p>概要</p>	<p>東胆振の1市4町が連携し、東胆振の魅力、個性を磨き上げ、一体的な発展を目指すとともに交流人口の増加、持続可能な地域の発展を目指す。 COCOTOMA（ココトマ）を地域情報の発信拠点に位置付け、本市まちなか及び地域全体の集客・活性化に取り組む。</p>
<p>実施時期</p>	<p>平成23年度～</p>
<p>経過等</p>	<p>○平成22年12月 東胆振地域ブランド創造協議会を設立 ○平成23年5月 「東胆振地域ブランド推進計画」策定 ○平成23年度～平成24年度 モニターツアーの開催、東胆振まるごとよくばり弁当の完成 他 ○平成25年度 東いぶり de いぶりアル体験 パスポートの実施 他 ○平成26年5月 「東胆振地域ブランド推進計画ステージ2」策定 ○平成26年度～平成27年度 東いぶり de いぶりアルキャンプ場ガイドブックの作製、東胆振まるごとよくばり弁当の空港販売開始、東胆振スープ3種のココトマ販売開始 他 ○平成27年10月 「定住自立圏共生ビジョン」において地域ブランド推進が3本柱の1つに掲げられる。 ○平成28年5月 「東胆振地域ブランド推進計画ステージ3」策定 ○平成28年度～平成29年度 道庁赤れんが庁舎前庭市町村PRへ出店、ハスカップ学習漫画「東胆振でみつけた！お宝！！ハスカップ」の配布 他 ○平成30年5月 「東胆振地域ブランド推進計画（2018～2020）」策定 ○平成30年度 東胆振スタンプラリーの開催、胆振東部地震復興チャリティイベント sapporo55 クリスマス2018、JP01まつり in チカホ等PRイベントへの参加、公式HPの開設 ○令和元年度 東胆振地域「文化」・「食」による誘客プロモーション事業の実施 他 ○令和2年度 東胆振ファンプロジェクト事業「Fun!Fan!東胆振」を始動 他</p>
<p>備考</p>	



平成 31 年 1 月
「冬の JP01 まつり in チカホ」出店



令和元年 6 月
道の駅あびら D51 ステーションでの「東胆振フェスタ」の開催
(※東胆振地域「文化」・「食」による誘客プロモーションの一事業)



令和 2 年 8 月
東胆振ファンプロジェクト「Fun!Fan!東胆振」始動
9 月
白老駅北観光インフォメーションセンターにて PR

(4) 空き店舗・空きテナント活用事業 【継続】

実施主体	市、商店街、民間事業者等
概要	<p>まちなかにおける空き店舗・空きテナントを活用し、集客に役立つ施設等を開設する事業者に対して、店舗賃借料または店舗移転改装費の一部補助を行い、中心市街地の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗賃借料 月額賃借料の 1/2 以内（上限 5 万円）、補助期間は 12 か月以内 ・ 店舗移転改装費 対象経費の 1/2 以内（上限 45 万円） <p>※ 賃借料・移転改装費ともに 1,000 円未満の端数切り捨て ※ 賃借料・移転改装費の併用は不可</p> <p>[空き店舗情報発信] 苫小牧市中心部に存在する空き店舗等に関する情報をHP上で紹介</p>
実施時期	平成 16 年度 ～
経過等	<p>○平成 16 年度 空き店舗活用事業が開始 ○平成 23 年度 店舗改装費も補助対象に追加 ○平成 26 年度 店舗移転改装費として移転に係る経費も対象に追加 ○平成 27 年度 移転改装費の上限を 45 万円に引き上げ</p> <p>【参考】 ○令和元年度実績 全 2 件（内訳：店舗賃借料 2 件） ○令和 2 年度実績 全 8 件（内訳：店舗賃借料 4 件、移転改装 4 件）</p>
備考	本事業は商業振興課が所管

(5) 苫小牧駅前周辺再整備事業 【継続】

実施主体	市、北海道、民間事業者等
概要	歴史・文化を発信する「苫小牧の顔」となる苫小牧駅前周辺エリアにおいて、各施設との連携、役割分担等により、新たな人の流れづくりに繋げる。また、公共交通結節点としての駅前の機能及び利便性の強化により、まちの活性化・再生を図る。
実施時期	平成9年度～
経過等	○平成9年度 駅前広場の改修（再整備） ○平成27年度 苫小牧市バリアフリー基本構想の策定 ○平成28年度 苫小牧市バリアフリー基本構想 特定事業計画の策定 ○平成28年度～ 苫小牧市バリアフリー特定事業計画実施及び報告書作成（毎年） ○平成30年度 JR苫小牧駅南口 上空通路（スカイウェイ）の解体、JR苫小牧駅自由通路の観光客受入環境整備（観光案内図や看板等） ○令和2年度 苫小牧都市再生コンセプトプラン策定
備考	

(6) 苫小牧市公式キャラクター“とまチョップ”PR事業 【継続】

実施主体	市、観光協会、民間事業者等
概要	本市の公式キャラクターとして、市内外のイベント出演やグッズ開発、ブログ、Facebook、インスタグラムを通じて、地域情報等の発信を行い、本市及びまちなかをPRする。
実施時期	平成23年度～
経過等	<p>○平成22年9月 緑陵中の総合学習において公式キャラクターの活用が示され、市長の目に留まる。</p> <p>○平成23年1月 子ども会議において名称、デザイン原案を決定</p> <p>○平成23年8月 とまチョップ誕生</p> <p>○平成24年4月 グッズの販売開始</p> <p>○平成24年5月 苫小牧観光大使就任</p> <p>○平成24年、25年 「ゆるキャラGP」に出場し好成績を収める。</p> <p>○平成27年11月 姉妹都市ニュージーランドネーピア市で海外デビュー</p> <p>○平成28年2月 苫小牧市副市鳥に任命</p> <p>○平成29年7月 「ご当地キャラふれんどフェスティバル in とまこまい」を出光カルチャーパークで開催</p>
備考	<p>○令和3年度 とまチョップ生誕10周年記念事業実施（実施予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10周年記念キャラクターイベント ・とまチョップツイッター開始 ・記念ロゴ制作 ・記念フラッグ装飾 ・「ふくし大作戦2021」連携事業 ・とまチョップ水に10周年記念首かけポップ取付け ・ガバメントクラウドファンディング

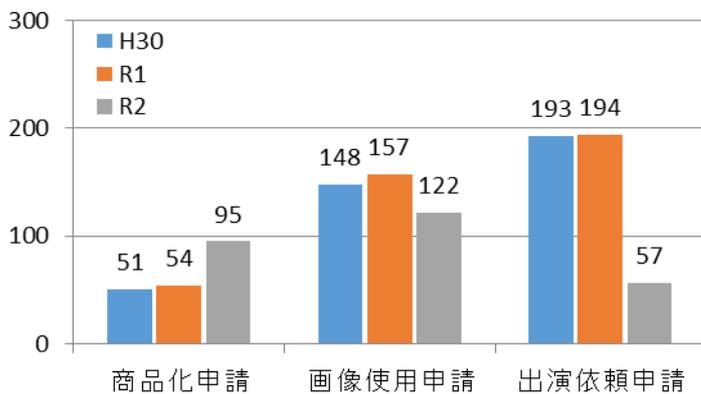


とまチョップの自己紹介



市内外のイベントや事業に参加。平成 29 年 7 月には、とまチョップがホスト役となり、全国から 103 キャラの友達を呼び、北海道最大級のご当地キャライベント「ご当地キャラふれんどフェスティバル in とまこまい」を開催。2 日間で延べ 8 万人の来場者が訪れ、市内において 1 億 4 千万円以上の経済効果があった。

とまチョップ 各種申請件数



過去 3 年間の各種申請件数

(7) CAP啓発事業 【継続】

実施主体	市
概要	まちづくりの考え方やCAPの施策を広く市民、商店街、企業関係者等に発信して、まちづくりに対する機運の醸成や人材の育成・発掘を行い、関係者のネットワークを構築する。
実施時期	平成23年度～
経過等	<p>【地域づくり研修会】</p> <p>○平成30年3月 第7回 地域づくり研修会 「親たちが立ち上げたおやこの広場びーのびーの」 奥山 千鶴子 氏</p> <p>○平成31年3月 第8回 地域づくり研修会 「まちなかのにぎわい創出へ向けて ～ 岩見沢まちなか朝市を事例に～」 前野 雅彦 氏</p> <p>○令和2年1月 第9回 地域づくり研修会 「進化するまちゼミ～生涯勉強！そしてその先へ！～」 佐々木 薫 氏</p> <p>【まちづくりフォーラム】</p> <p>○平成31年3月 第8回 まちづくりフォーラム 「苫小牧市のまちなか活性化の取り組みと、いま必要なもの」 酒井 秀治 氏、内川 亜紀 氏、他3名</p> <p>○令和2年2月 第9回 まちづくりフォーラム 「公共空間の使い方が変われば、ひょっとしたらまちは変わるんじゃないかと思っている今日この頃のお話」 西村 浩 氏</p> <p>○令和2年11月 第10回 まちづくりフォーラム 「“ジブンゴト”としてまちをつくる-鎌倉資本主義の実践から-」 柳澤 大輔 氏、清野 由美 氏</p>
備考	※ 直近3回を掲載



令和2年1月27日

第9回 地域づくり研修会
「進化するまちゼミ
～生涯勉強！そしてその先
へ！～」
紋別まちゼミ実行委員会
佐々木 薫 氏

参加者 20 名



令和2年11月20日

第10回 まちづくりフォー
ラム
「“ジブンゴト”としてまち
をつくる-鎌倉資本主義の
実践から-」
講師：面白法人カヤック
代表取締役 CEO
柳澤 大輔 氏
ファシリテーター：
苫小牧国際交流拠点形成事
業戦略コーディネーター
清野 由美 氏

参加者 57 名

(8) 子ども・若者まちづくり参加推進事業【継続】

実施主体	市、学校、各商店街、民間事業者等
概要	子ども・若者が地域と連携し、まちづくりに関わることで「まちが変わる」という成功体験を体感してもらい、まちへの愛着や将来まちを良くしたいという気持ちを育てる。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	<ul style="list-style-type: none">○平成 28 年度 まちなかみんなのベンチ♪ プロジェクトをプレイベントとして実施○平成 29 年 8 月～11 月 「緑の空間 (ポケットパーク) 錦町 2 丁目 1 番 2」の利活用、空間のデザインコンペを実施、デザインが決定○平成 29 年 12 月～平成 30 年 6 月 デザインの具現化に向けた検討及び図面化○平成 30 年 6 月～11 月 ウッドデッキ等の製作○平成 30 年 9 月 娯楽場パーク前にインフォメーションボード (掲示板) の設置○平成 30 年 10 月 インフォメーションボード 完成セレモニー○平成 30 年 11 月～12 月 ウッドデッキ、イルミネーション等の設置○平成 30 年 12 月 憩いの空間「彩 (いろどり)」 完成セレモニー (イルミネーション点灯式)○令和元年 5 月、9 月、11 月 市民の憩いの場として整備した空間 (ポケットパーク) を活用して、商店街と高校生が協力し、夏は花を植栽、冬はイルミネーションを設置○令和 2 年 6 月 商店街と高校生が協力しポケットパーク及び駅前本通に花を植栽
備考	



平成 30 年 10 月

娯楽場パーク前のインフォメーションボード(掲示板)完成セレモニー



平成 30 年 12 月

憩いの空間「彩(いろどり)」完成セレモニー
(イルミネーション点灯式)



令和 2 年 6 月

商店街と高校生によるポケットパーク及び駅前本通での花壇整備作業

(9) 子ども・子育て世代まちなか居場所づくり支援事業 【継続】

実施主体	市、市民団体、民間事業者等
概要	子ども・子育て世代が、本市まちなかにおいて親子の遊び場や交流の拠点として気軽に集える機会を創出し、新たな交流人口の増加を図るため、これらの事業を実践する団体と連携・協力するほか、必要な経費の一部を補助する。
実施時期	令和元年度～
経過等	<p>○平成30年4月～10月 子ども・子育て世代まちなか居場所づくり検討会（全5回開催） まちなかづくりフォーラム、地域づくり研修会に参加した子育て中の女性を中心に、まちなか居場所づくり検討会を開催。その中で、子育て世代のニーズが高い事業を選定し、次年度の具現化に向けて協議を行った。</p> <p>○平成30年9月 子ども・子育て世代の交流を支援する団体『できることから はじめの いっぽ -IPPO-』が設立</p> <p>○平成30年10月 親子カフェやキッズ遊び場など、交流イベントを開催</p> <p>○平成31年1月 「親子で遊び倒そう in ココトマ」を開催。子育て講演会やアナログゲームの体験会等を実施</p> <p>○令和元年度 大人も子どもも楽しめる「木育イベント」や託児付きのワークショップ「IPPO ワークショップ with 美とまるしえ」、まちなかの飲食店と連携して、子連れがゆっくり食事を楽しむ「まちなかCafé（指ヨガ×ランチ）」などを開催</p> <p>○令和2年度 佐々木十美先生のカレー教室や＃とまらぶフォトコンテストを開催</p>
備考	



平成 30 年 4 月～10 月
子ども・子育て世代まちな
か居場所づくり検討会（全
5 回）を開催



平成 30 年 9 月
検討会参加者 10 人で、子ど
も・子育て世代の交流を支
援する市民団体『できるこ
とから はじめの いっぽ-
IPPO-』を設立

できることから はじめの いっぽ
IPPO 



令和 3 年 1 月
佐々木十美先生のカレー教
室開催

(10) シビックプライド醸成事業【継続】

実施主体	市民、学校、各種団体、商店街、民間事業者、市等
概要	市民やまちづくり関係者、CAPを通して生まれた団体等のメンバーで組織する「(仮称)まちづくり検討委員会」を立ち上げ、苫小牧の顔であるまちなかに対する新たな誇りや愛着を育むための取組みを、一緒に考え、一緒に実施します。
実施時期	令和2年度～
経過等	○令和2年6月 「(仮称)まちづくり検討委員会」準備会開催 ○令和2年8月 まちづくりに関心のある市民や、普段からまちづくりに携わる各種関係団体、民間事業者等で組織する団体として「T.O.P (トップ: tomakomai open project)」を立ち上げ ・令和2年度TOP会議開催数3回 ○令和3年1月 市民アンケートの実施
備考	

【事業イメージ】



【令和3年度～】

- 検討委員会が出た意見を基に、新たなまちなか再生事業を構築し、検討委員会を中心として事業展開を図り、にぎわいの創出に繋げる
- 事業検証も踏まえ、次年度以降の新たなまちなか再生事業の検討を行う

(11) まちなかイベント開催支援事業 【継続】

実施主体	市、学校、商店街、市民団体等
概要	市民団体などが開催するまちなかの活性化に資するイベントに対して、事業費の一部を補助、資機材の貸出、ボランティア募集の呼びかけ、また、イベント情報の周知・PR等の協力を行う。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	<p>○平成 29 年 8 月 苫小牧市まちなかイベント支援事業補助金交付要綱を策定</p> <p>○平成 29 年 10 月 地元中学生や高校生、ココトマ等が連携して、ハッピーハロウィンフェスタ 2017 を開催</p> <p>○平成 29 年度 補助金を活用したイベント まちなかイベント広場、Mosaic Market、うまいっしょグランプリ、TOMAKOMAI STREET MIXX SHOW!!、とまこまいチャリティー市民音楽祭が開催される。</p> <p>○平成 30 年 10 月 地元高校生や看護学校、ココトマ等が連携して、ハッピーハロウィンフェスタ 2018 を開催</p> <p>○平成 30 年度 補助金を活用したイベント まちなかイベント広場、Mosaic Market、うまいっしょグランプリ、港まつり後援事業「TOMAKOMAI' 18 SOUNDinSUMMER」、MISSION ANIMATE が開催される。</p> <p>○令和元年 10 月 地元高校生やココトマ、IPPO 等が連携して、とまこまいハロウィンフェスタ 2019 を開催</p> <p>○令和元年度 補助金を活用したイベント まちなかイベント広場、Mosaic Market、うまいっしょグランプリ、絵本の館「宇宙船みみ」オープニングが開催される。</p> <p>○令和 2 年度 10 月 地元高校生やココトマ、IPPO 等が連携して、とまこまいハロウィンフェスタ 2020 を開催</p> <p>○令和 2 年度 補助金を活用したイベント まちなかイベント広場、Mosaic Market、まちなか夜市が開催される</p>
備考	



令和2年9月
Mosaic Market
(駅前マルシェ)

来場者 1,200人



令和2年9月
まちなかイベント広場
(ホコ天)

来場者 1,000人



令和2年10月
とまこまいハロウィンフェスタ 2020



令和3年2月
まちなか夜市

来場者 500人

(12) まちゼミ開催支援事業 【継続】

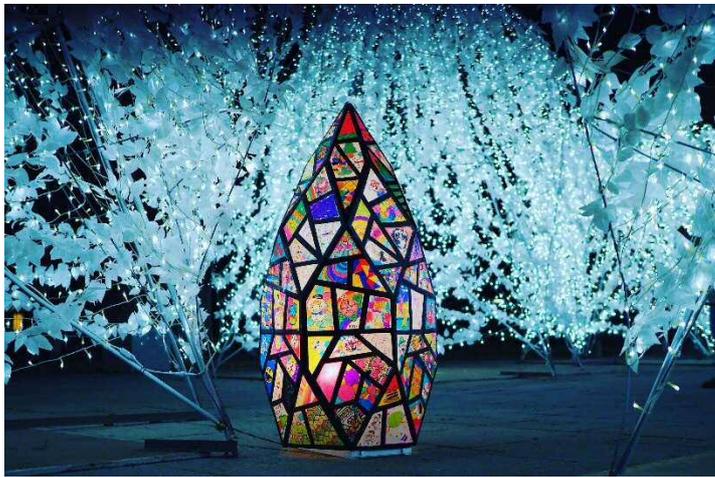
実施主体	市、商店街、民間事業者等
概要	市民が学び知る場を商店街に設け、個店の活力や集客力、通りの魅力向上を目的に、各個店の店主等が講師として開設するまちゼミの開催に係る事業費の一部を補助する。また、イベント情報の周知・PRの支援を行う。
実施時期	平成 25 年度 ～
経過等	○平成 29 年 10 月～11 月 第 6 回 (34 店舗 53 講座 305 名受講) ○平成 30 年 10 月～11 月 第 7 回 (29 店舗 53 講座 303 名受講) ○令和元年 9 月～10 月 第 8 回 (21 店舗 39 講座 238 名受講) ※ 直近 3 回を掲載 ※ 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
備考	※ 苫小牧市が北海道内で初めてまちゼミを開催

(13) 駅前イルミネーション事業 【継続】

実施主体	市、商店街、民間事業者等
概要	明るく歩きやすい駅前ゾーンを形成し、まちなかのにぎわい創出に繋げるため、イルミネーションを設置して、同時に様々な連動イベントを実施。また、まちなかの各施設や商店街、飲食店街、市内企業等との連携を図り、まちなか全体のにぎわい創出に繋げる事業を開催する。
実施時期	平成 30 年度 ～
経過等	<p>○とまイルスクエア (TOMAILLU SQUARE) 2018 開催期間 : 平成 30 年 12 月 21 日～平成 31 年 2 月 14 日 点灯時間 : 16 : 00～23 : 00 会場 : JR 苫小牧駅前南口 駅前広場及びバスターミナル側駐車場 内容 : ドーム型イルミネーション等設置 (LED 電球約 10 万 4 千球を使用) 付帯イベント : イルミネーション点灯式、とまイル SNS フォトコンテスト、とまイルスタンプラリー、紙袋ランタンワークショップ、とまイルバレンタインディナーwith クルーズキッチン、フィナーレセレモニー</p> <p>○とまイルスクエア (TOMAILLU SQUARE) 2019 開催期間 : 令和元年 12 月 1 日～令和 2 年 2 月 14 日 点灯時間 : 16 : 00～23 : 00 (2 月は 17 : 00 から点灯) 会場 : JR 苫小牧駅前南口 駅前広場 内容 : ドーム型イルミネーション等設置 (LED 電球約 11 万 2 千球を使用)</p> <p>○とまイルスクエア (TOMAILLU SQUARE) 2020 開催期間 : 令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 2 月 14 日 点灯時間 : 16 : 00～23 : 00 (2 月は 17 : 00 から点灯) 会場 : JR 苫小牧駅前南口 駅前広場 内容 : 幻想的な“光の森”をテーマとしたイルミネーション等設置 (LED 電球約 11 万 3 千球を使用) 付帯イベント : ステンドライトオブジェをつくろう! 等 4 イベント</p>
備考	



とまイルスクエア 2020



ステンドライトオブジェ
(SNS フォトコンテスト
大賞作品)



SNS フォトコンテスト準大
賞作品

(14) まちなかウォーキング事業 【継続】

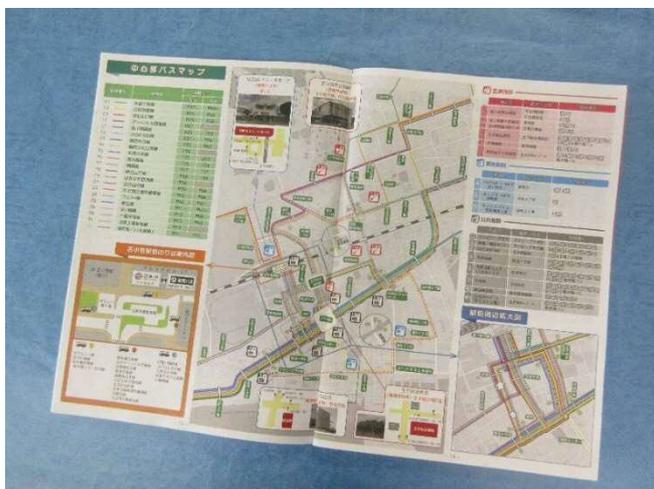
実施主体	市、各種団体等
概要	まちなかにある商店街や地域・観光資源等を結んだコースをウォーキングすることで、参加者の健康増進に役立てるとともに、中心部の魅力を知っていただき、その後の周遊に繋げる。
実施時期	令和元年度～
経過等	○平成28年度 「つなごうスポーツ大作戦」において、市内5コース（※）で健康ウォーキング事業を実施（以後、毎年開催） ○令和元年度 「みんなで健幸大作戦」において、健康ウォーキング事業（スポーツ都市推進課）、謎解きウォーキング（健康支援課）とのコラボ事業「まちなかウォーキング2019」を実施 ※ 内、1コースは、中心市街地周辺コース ○令和2年度 「健康ウォーキング事業 ウォーキングスタンプラリー～みんなで歩こう会～」（スポーツ都市推進課）と連携 まちなかマップを作成し、まちなかを歩いてもらうきっかけづくりを行った
備考	

2

公共交通の利便性の向上に係る事業

(15) バスマップ事業 【継続】

実施主体	市、公共交通協議会、民間事業者等
概要	バスの利便性向上を図るため、バスマップを作成し、まちなかにおけるバス停付近の店舗、公共施設等の情報、バスの便利な使い方などを発信する。
実施時期	平成 30 年度 ～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 30 年 6 月 第 14 回 公共交通協議会 バスマップ作製事業を含む、平成 30 年度事業計画（案）について承認 ○平成 30 年 9 月 第 7 回 交通政策分科会 バスマップ（案）について議論 ○平成 30 年 11 月 第 8 回 交通政策分科会 前回の議論を踏まえ、バスマップ（案）の修正 ○平成 30 年 11 月 第 15 回 公共交通協議会 分科会の議論を踏まえた最終案について承認 ○平成 31 年 4 月 苫小牧市内路線バス時刻表に中心部等のバスマップを掲載 ○令和 2 年度 4 月 苫小牧市内路線バス時刻表に中心部等のバスマップを掲載（国道通行止め解除に伴う経路変更、スーパー等店舗情報の更新）
備考	



苫小牧市内路線バス時刻表に中心部のバスマップを掲載

(16) バス利用者満足度向上事業 【継続】

実施主体	市、公共交通協議会、学校等
概要	「市立病院港町循環線」等の利用者満足度向上に向け、若者の発想やアイデアを生かしたバスの魅力作りに取り組み、バスの親しみやすさ、乗りやすさを向上させる。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	<p>○平成 28 年 8 月 インターンシップの学生と循環バスの利用者満足度調査を試験的に実施</p> <p>○平成 29 年度</p> <ul style="list-style-type: none">・若草小学校 5 年生の児童（当時 4 年生）が発案した、苫小牧の地域資源の展示・紹介及び苫小牧ふたば幼稚園の園児が制作した、ひなまつりの作品を展示するギャラリーバスを期間限定で運行・苫小牧総合経済高等学校の生徒が七夕、クリスマスにデザインしたデコレーションバスを期間限定で運行・苫小牧総合経済高等学校の生徒による循環バスの利用者満足度調査を実施 <p>○平成 30 年度</p> <ul style="list-style-type: none">・苫小牧青空幼稚園の園児が制作した、七夕の作品を展示するギャラリーバスを期間限定で運行・苫小牧総合経済高等学校の生徒や苫小牧看護専門学校の学生がクリスマスにデザインしたイルミネーションバスを期間限定で運行・インターンシップの学生と循環バスの利用者満足度調査を実施 <p>○令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none">・美園小学校、樽前小学校の児童が制作した、七夕の作品を展示するギャラリーバスを期間限定で運行・インターンシップの学生と循環バスの利用者満足度調査を実施 <p>○令和 2 年度</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響により未実施
備考	



平成 30 年 7～8 月
 苫小牧青空幼稚園の園児が七夕の装飾を施した「おりひめ号」「ひこぼし号」を期間限定で運行



平成 30 年 12 月
 苫小牧総合経済高等学校によるイルミネーションバス「総経ハッピークリスマス」、苫小牧看護専門学校の「幸せ運びバス」を期間限定で運行



令和元年 7 月～8 月
 美園小学校と樽前小学校が装飾した「七夕ギャラリーバス」を期間限定で運行

3

まちなか居住の推進に係る事業

(17) まちなか居住支援事業 【継続】

実施主体	市、民間事業者等
概要	<p>中心市街地に賃貸住宅を建設する者に対して、その費用の一部（※）を助成することにより、良質な住宅の供給及びストックの形成を図り、まちなかのにぎわい創出へと繋げていく。</p> <p>※ 一戸あたり 100 万円（単身住宅 1 戸あたり 50 万円） 別途申請条件あり</p>
実施時期	平成 26 年度 ～
経過等	<p>○平成 26 年度 「賃貸住宅建設補助金」制度を創設</p> <p>○平成 27 年 5 月 1 件（マンション 72 戸分）申請を受理 ※ 平成 29 年 2 月 賃貸住宅が完成</p> <p>○平成 30 年 6 月 1 件（アパート 8 戸分）申請を受理 ※ 平成 31 年 1 月 賃貸住宅が完成</p> <p>○令和元年 6 月 1 件（アパート 9 戸分）申請を受理 ※ 令和 2 年 1 月 賃貸住宅が完成</p> <p>○令和 2 年 7 月 1 件（アパート 9 戸分）申請を受理 ※ 令和 3 年 1 月 賃貸住宅が完成</p>
備考	○令和 3 年度 要綱見直しによる要件緩和



栄町1丁目に建設した賃貸住宅（アパート 8戸）

平成31年1月完成



栄町1丁目に建設した賃貸住宅（アパート 9戸）

令和2年1月完成



栄町1丁目に建設した賃貸住宅（アパート 9戸）

令和3年1月完成

※直近3件を記載

